

2017 連合平和行動 in 沖縄 参加報告 ～次世代へ語り継ぐべき平和への願い～

2017年6月23日(金)～25日(日)の日程で印刷労連は「連合2017平和行動 in 沖縄」に15名で参加をしてきました。23日の慰霊の日に合わせての平和行動でしたが、22日に梅雨明けしたばかりで猛暑の中での参加となりました。

1日目の「平和オキナワ集会」では、基調講演として「沖縄の縮図・伊江島から学ぶ」というテーマで、伊江島観光バス(株)代表山城克己氏よりお話をいただきました。当時、東洋一の飛行場が建設され日本軍の重要な軍事拠点となっていた伊江島、米軍が上陸してたった6日間で占領された状況と、その間に住民を巻き込んだ激しい戦闘、その惨劇が伝わり、改めて戦争の愚かさ、惨さについて考えさせられました。その後の平和式典は連合神津会長、連合沖縄大城会長より、沖縄戦の悲惨さ、今も継続問題となっている米軍の様々な問題解決に向けて更に結束し、活動をしていかなければならないとのお話がありました。

2日目は、ピースフィールドワークに参加。戦争跡地を中心に視察し、72年前の沖縄地上戦で起きたこと、多くの民間人が犠牲になったこと、当時の方の心情などを参加者全員で共有し、戦争を経験した語り部の方が減っていく中、私たちは目で見たこと、五感で感じたことを周囲に発信し、後世にも引き継いでいかなければならない、そんな使命を強く感じました。

集会・デモ行進では在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しを求める行動とし、皆で訴えながら那覇市内の国際通りを歩きました。

今も尚、沖縄の人にとって戦争は終わっていないのです。私たちは沖縄戦で亡くなったすべての人々へ哀悼の意を捧げ、戦争の悲惨さ、平和の尊さについて継承し、今後も粘り強く平和運動を継続していかなければならない、そう強く認識しました。

連合平和行動は、この後「広島・長崎・根室」へと継続して開催していきます。

教育・広報委員会では、引き続き「NETWORK」を通じて参加報告を掲載する予定です。



印刷労連「第2回ブロック会議【WEST・EAST】」を開催

印刷労連は2016年度も活発に活動を展開し、より良い取り組みを進めるために様々な委員会や会議で十分な議論を積み重ねてきました。その中で、最も大きな会議のひとつである「ブロック会議」では、今年度初の試みである「日本西側(WEST)」と「日本東側(EAST)」に分けた会議を開催しました。そこでは課題共有や各地域協議会の取り組み事例を用いての意見交換などを行いましたので、今回は、その内容をご報告いたします。

ブロック会議【WEST】

石川・愛知・京滋・大阪・福岡・熊本(高知)の各地方協議会



6月10日(土)12:30よりコクヨ梅田オフィスにて2016年度第2回ブロック会議「WEST」を開催しました。当日は石川・愛知・京滋・大阪・福岡・熊本の各地方協議会幹事と、高知からオルタステクノロジー労働組合の松崎委員長にも参加いただき、本部も含め計41名の参加となりました。冒頭の釣本委員長の挨拶では、今回のブロック会議の開催についての経緯について、また、今後は全地協によるブロック会議の開催についても視野にいれて活動を行なうためにも重要なブロック会議であるとお話がありました。

当日は以下の3部構成で行われました。

1. 各地協の取り組み好事例の共有と活用について
2. 構成組織が現有する課題の共有とその解決に向けた意見交換
3. 情報共有全般について

テーマ1については、各地協での行事の開催方法や青年委員会組織の課題について意見交換を行いました。

テーマ2については、各労組の現状の課題について共有がされ、特に労使間での課題がある労組が多くあり、どのような課題解決が必要かについて意見交換を行いました。

テーマ3については、田倉中央執行委員長代行より各種マニュアル・ダイジェスト版・ホームページ・NETWORKについてもっと各労組で活用してほしいと話がありました。

今回、初めての試みではありましたが、活発な意見交換が出来たものの、まだまだ情報共有をする場が必要であるということを再確認できた会議でもありました。



ブロック会議【EAST】

北海道・宮城・関東北部・関東南部・長野の各地方協議会

5月20日(土)13:30より友愛会館9階中ホールにて、2016年度第2回ブロック会議「EAST」を開催しました。当日は北海道・宮城・関東北部・関東南部・長野の各地方協議会幹事、そして本部を含む計47名の出席となりました。

釣本中央執行委員長の挨拶から始まり、テーマを3つに分けて意見交換を行い、テーマ1では各地方協議会で取り組んでいる好事例を披露してもらいました。その中では共通で認識できる内容も含まれ、田倉中央執行委員長代行よりそれに対する取り組みのポイントを説明されるなど、充実した意見交換ができました。

テーマ2では、各構成組織の中で現有する課題に対し、それらを共有しながら、次のステップへ進めるよう課題解消へ向けた意見交換を行いました。

テーマ3では、本部との情報共有ということで、以前より意見が多かった本部発信の情報の取得と活用を、教育・広報委員会の土口委員長より紹介を兼ねながら説明を行いました。特に各種マニュアル・ダイジェスト版については、より分かりやすく改定し、ホームページのサイト内も整理しましたので、機関紙NETWORKと合わせてご活用していただきたい旨が話されました。

今回の会議は初の試みであり、また発展途上ですが今後も十分に議論しながら精度を上げ、より充実した会議にしていきたいと感じました。





三浦印刷労働組合 (執行委員長：田中 英海)

三浦印刷労働組合は、昭和38年に結成され、自由にしてかつ民主的な労働運動の展開を運動の基調として、日々活動しています。

印刷労連へは結成前の全国印刷労働組合協議会から参画しており、現在は会計監査を務めています。引き続き印刷産業で働く者が安心して働けるように社会的経済的地位の向上に向け、皆さまと共に協力しながら取り組んでいきたいと考えております。今後ともよろしくお願ひいたします。



最後に私たちが働く会社と事業所のある東京都墨田区についてご紹介いたします。三浦印刷株式会社は、創業86年の歴史とそこで培われた「カラーの三浦」と言われる技術力を強みとして、カタログ・ポスター・カレンダーなどの商業印刷物を中心とした各種印刷物を手掛けています。また、企画や校正といった印刷の前工程やWebサイトなどのデジタル媒体に関する分野にも力を入れており、「ミウラの缶」というサービスが今一押しです。事業所のある東京都墨田区は、日本一高い建造物である東京スカイツリーが有名ですが、本社は両国に位置しているため、周辺には相撲部屋が多く、力士と下町情緒があふれる町並みが特徴です。ちゃんこ鍋のお店も多く、土俵の脇で相撲甚句を聞きながら食べられるところもあります。両国へ訪れた際は、是非お声かけください。

トッパンプロスプリント労働組合 (執行委員長：岡野 裕次)

私達の労働組合は2004年に、JTグループからトッピンググループへ仲間入りを致しました。その2年後、同じJTグループだった「㈱GB1」「特許紙器㈱」「ジェイティプロスプリント㈱」の3社が合併した際、3労組も統合し「トッパンプロスプリント労働組合」が誕生致しました。

仕事の内容としましては、JT社のたばこパッケージの製造を主にしております。水戸工場では、たばこ包材の一貫製造ラインを持ち、現在では国内においてトップシェアを誇っております。

私達の工場がある茨城県は、毎年行われる「都道府県魅力度ランキング」で毎回最下位を保持しております。農産物・海産物など美味しいものには事欠かない県なのですが、奥ゆかしい県民性からアピール下手でそうした結果になっております。

水戸と言えば水戸納豆。あの長嶋監督が愛した1パック500円の納豆から、3パック100円以下で買えるものまで価格や種類も豊富です。水戸近辺に住む人は「どことこのメーカーの〇〇が美味しい」とこだわりを持っています。そして日本3大庭園の一つ偕楽園は、水戸藩第9代藩主徳川斉昭公が領民と借(とも)に楽しむ場にしたという思いで作られたと言われております。偕楽園では毎年2月下旬から3月下旬にかけて、水戸の梅まつりが開催されますので是非一度お立ち寄りください。きっと水戸の良さ、茨城県の良さを実感されると思います。



編集後記

新年度が始まりました。2017年度もどうぞよろしくお願ひします。ですが、こうも暑いとやる気も出ないのではないのでしょうか？

暑さと言えば「熱中症」が印象的ですが、最近では様々な対策や予防グッズが豊富です。予防としては「水分をこまめにこる」「塩分をほどよくこる」「睡眠環境を快適に保つ」「丈夫な体をつくる」など、常日頃から暑さと熱中症を関連づけて下さい。また冷却シートやスカーフ、氷枕などのグッズを活用したり、エアコンと扇風機を併用したり、外出する際は日差し帽子をかぶったり、通気性の良い衣服を着るなど、環境面でも対策をとることは大切です。

労働運動もそうですが、「我慢・気合・根性」は程よく、周りの環境を捉えながら対応と予防を行うことが大切ですね。

教育・広報委員会

大塚 新一

連合  印刷労連
労働相談ダイヤル
03-5442-0191



左記QRコードから、是非、印刷労連のHPもご覧ください。
ID: pimw (半角英数)
PASS: 1989 (半角英数)